

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第28号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:石塚悟史

はじめに

JST「研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 第三回公募【FS】シーズ顕在化タイプ

A-STEP は、国民経済上重要な科学技術に関する大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を基にした実用化を目指すための研究開発フェーズを対象とした技術移転支援プログラムです。

【FS】シーズ顕在化タイプは、産業界の視点から見出された大学等の研究成果に潜在しているシーズ候補について、産学共同で企業ニーズにつながるシーズとなる可能性の有無を検証することを目的としております。

(1) 公募期間

平成25年9月11日(水) ~ 平成25年10月18日(金) 正午

(2) 採択予定課題数

40課題程度

(3) 申請者の要件

大学等の研究者と企業の共同申請

(4) 研究開発の総額(間接経費込)

基準額800万円(～1,000万円まで)

(5) 研究開発期間

原則1年間

事業の詳細は科学技術振興機構(JST)HPをご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html#3>

目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 秋の公開講座 10月より開講

p3 産学官連携部門

Topic1. 第7回産学官民コミュニティ全国大会 & 土佐まるごと社中(TMS)発足1周年記念定例会

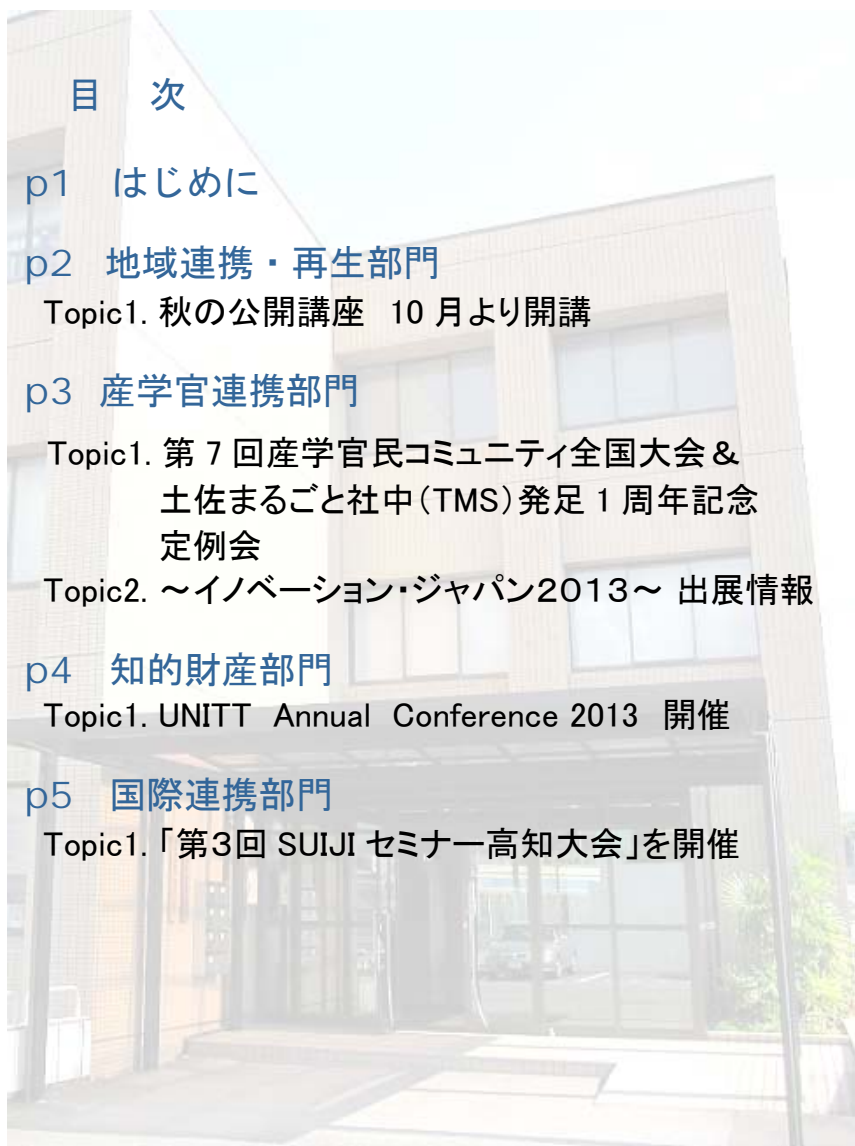
Topic2. ～イノベーション・ジャパン2013～ 出展情報

p4 知的財産部門

Topic1. UNITT Annual Conference 2013 開催

p5 国際連携部門

Topic1. 「第3回 SUIJI セミナー高知大会」を開催



Topic 1. 秋の公開講座 10月より開講

「平成 25 年度 秋の公開講座」について、開催講座を公募した結果、以下の通り各先生から講座のご提案を頂きました。

講座名	講師	開講日時	募集人員	講師からの一言
書道入門	北川 修久	11月1日(金)18:30~20:00 11月8日(金) 〃 11月15日(金) 〃 11月22日(金) 〃 11月29日(金) 〃【全5回】	10名	ピカソのように、「書」を理解することができるようになる。そうなれば、あなたは「書」がわかるアーティストです。
日本画を描く	野角 孝一	10月28日(月)18:30~20:00 11月11日(月) 〃 11月18日(月) 〃 11月25日(月) 〃 12月2日(月) 〃【全5回】	10名	普段の生活の中でひとつのモノを長時間見ることは少ないと思います。今回はモチーフをとことん見て感じたことを描きます。
リラクゼーションでこころとからだを解き放つ	原崎 道彦	10月5日(土)10:30~12:00 10月12日(土) 〃 10月19日(土) 〃 10月26日(土) 〃 11月2日(土) 〃【全5回】	15名	がんばらないとできないことは、何もありません。楽なことしかしません。そうでないとリラクゼーションになりません。
“理科離れ”ってほんとうですか？	川崎 謙 國府俊一郎 蒲生 啓司 原田 哲夫 赤松 直 中城 満	11月5日(火)18:00~19:30 11月12日(火) 〃 11月19日(火) 〃 11月26日(火) 〃 12月3日(火) 〃 12月10日(火) 〃【全6回】	20名	私達は、教育学部で、将来教職に就く学生のための人材を養成している理科教育の教員です。土佐の自然・地域資源を創造的に活用する、独自の科学技術教育システムを構築して、持続可能な科学技術立国を目指したいと思います。
運動初心者大歓迎！中高年のストレッチ&ウエストシェイプ	常行 泰子	11月12日(火)11:00~12:00 11月19日(火) 〃 11月26日(火) 〃 12月3日(火) 〃 12月10日(火) 〃【全5回】	15名	運動初心者の方、大歓迎です！新しくなった高知大学ダンス室で快適に運動を始めてみましょう。お待ちしております(^)/
暮らしを醸す小さな生命！～発酵と腐敗を区別する文化と生活！～	永田 信治	10月4日(金)19:00~20:30 10月11日(金) 〃 10月18日(金) 〃 10月30日(水) 〃 11月3日(日)10:00~11:30 【全5回】	30名	暮らしの中で「発酵」は良いもの、「腐敗」は悪いものと、私達は教えられてきました。しかし、生命が分解して変化する現象として、科学的には「発酵」も「腐敗」も同じです。民俗学の権威、国立民族学博物館の石毛直道名誉教授の名言「発酵」と「腐敗」を区別するのは「科学」ではなく「文化」である！・・と言う視点から、身近な発酵食を見直してみませんか？
自然の記録を残す人をつくる —生物標本作製講座(蛇類・小型哺乳類組立骨格標本)—	谷地森 秀二 伊藤 圭子	10月13日(日)9:00~16:00 10月14日(月祝) 〃 11月16日(土) 〃 11月17日(日) 〃 【全4回】	15名	小型哺乳類は一人一点ずつ作製します。ネズミ類、モグラ類、コウモリ類の中から選びます。 ヘビ類は、3~4人で一点作ります。 作製した標本は、高知大学理学部サイエンスギャラリーで展示したのち、県内の様々な場所で展示する予定です。

ご提案いただいた先生方にはこの場を借りてお礼申し上げます。

各講座の申し込みは既に開始しております。お問い合わせ・お申し込みなどありましたら、下記連絡先までお願いいたします。

高知大学国際・地域連携センター 〒780-8073 高知市朝倉本町2丁目17番47号
TEL:088-844-8454 Fax:088-844-8556
E-mail:kokaikoza@kochi-u.ac.jp URL <http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/>

Topic 1. 第7回産学官民コミュニティ全国大会 & 土佐まるごと社中(TMS)発足1周年記念定例会

～ 始まる予感 つながる心 時代を拓く志 ～

産学官民連携に取り組む全国で活動する同じ思いを持った同志が一堂に会し、業種や分野、所属や肩書き、年齢、性別、国・地域を越えて、ひとりの人間としてフラットな関係で、双方向のコミュニケーションを深めることにより、さらに一層、知の創造やイノベーション創出に結びつける機会となるものと期待して開催します。全国から産学官民連携活動に関わるキーマンが高知に集いますので、ご関心のある方のお越しをお待ちしています。個人の参加も歓迎します。

開催日時:平成25年10月19日(土)13:00～19:30

開催場所:高知県立大学永国寺キャンパス

(〒780-8515 高知市永国寺町5-15)

全体会(203教室)、分科会(202教室、205教室、251教室)

<http://www.u-kochi.ac.jp/access/eikokuji.htm>

交流会場:高知城ホール

(〒780-0850 高知県高知市丸ノ内二丁目1番10号)

<http://www.kochijyohall.jp/>

参加費:4,000円(ただし、交流会費を含む。)

全体会・プレゼン大会のみは1,000円 ※学生は半額)

土佐まるごと社中(TMS)事務局(高知大学国際・地域連携センター内) 石塚悟史

電話:088-844-8555 FAX:088-844-8556

メール:jimu@tosa-ms.jp 公式ブログ:<http://blog.tosa-ms.jp/>



Topic 2. ～イノベーション・ジャパン2013～ 出展情報

8月29日から30日の間、東京ビッグサイトにおいて、大学等から創出された研究成果の社会還元を促進するため、技術移転並びに産学連携の端緒となるイベントとして、大学側から産業界に対して、研究成果の内容を成果物やパネル等で紹介する国内最大マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン2013-大学見本市-」が、独立行政法人科学技術振興機構(JST)と独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)主催で開催されました。2日間で2万1千人の来場者があり、各企業、各大学、研究機関等の研究者によるプレゼンテーションやポスター展示を通じて最新の研究成果の発表等が活発に行われました。

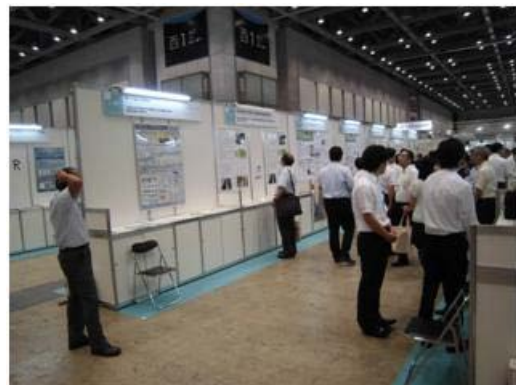
本学からの出展者

黒潮圏科学部門 海洋生物研究教育施設 准教授 平岡雅規先生

研究課題「陸上多段式タンク栽培による海藻の高効率生産技術」



開会式の様子



展示ブース

Topic1. UNITT Annual Conference 2013 開催

9月13日(金)～14日(土)の2日間、「UNITT Annual Conference 2013(一般社団法人大学技術移転協議会主催)」が、首都大学東京荒川キャンパス(東京都荒川区)を会場として開催されました。

UNITT アニュアル・カンファレンスとは、大学技術移転における諸課題について、講師と会場参加者の双方向から討議するセミナーです。全国の産学連携関係者等が一堂に会して、スキルアップ、ネットワーク作りと情報交換の場を形成しています。

第1回の産学連携実務者ネットワーキングから数えて、10回目を迎えました。

本年度は、「UNITT10周年今後の産学官連携のあるべきシステム」、「大型・長期の研究開発プロジェクトにおけるリサーチアドミニストレーション」、「改めて共同研究のあり方を考える」、「こないにしていまっせ！バイオ技術移転！」、「米国の先願主義でどうなる米国出願」等のテーマが取り上げられました。また、新たに産学連携の仕事を始め方やスキルアップを志望している方に対して役立つように、「特許基礎講座」、「共同研究基礎講座」、「ライセンス基礎講座」を加えたセッションが開講されました。

2日間で大学の産学連携の諸課題が俯瞰できるプログラムとなっておりますので、興味、関心のある方は次年度以降ご参加下さい。

なお、大学技術移転協議会については、ホームページ(<http://unitt.jp/>)をご覧ください。

UNITT Annual Conference 2013

University Network for Innovation and Technology Transfer

◇一般社団法人大学技術移転協議会◇

9月13日(金)		(M):モデレーター、(S):スピーカー、(C):コメンテータ、(P):司会	
9:00	受付開始		
10:00-11:00	オープニングリマーク		
11:00-12:30	【全体セッション】産学連携の評価指標について (M)渡部俊也(東京大学)、(S)山本貴史(東大TLO)		
12:30-13:30	昼食		
13:30-15:30	A1 UNITT10周年セッション 今後の産学官連携のあるべきシステム (M)伊藤伸(東京農工大学) (S)三本俊克(GNPT) (S)対馬正秋(岩手大学) (S)宮川京也(慶徳義塾大学)	B1 中小規模大学の産学連携の取り組み (M)山本裕子(関西TLO西) (S)大澤佳夫(信州TLO西) (S)原田隆(福井大学)	C1 経緯としての若手人材育成 (M)坪内寛(九州大学) (S)井筒弘(湘東北テクノアーナ) (S)角田勝則(東京理科大学) (S)石田裕隆(関西TLO西)
15:30-16:00	コーヒー・ブレイク		
16:00-18:00	A2 大型・長期の研究開発プロジェクトにおけるリサーチアドミニストレーション機能 (京都大学CIRAの事例を中心に) (M)高橋真木子(理化学研究所) (S)高須直子(京都大学) (C)平田徳宏(九州大学)	B2 企業のKey Personに聞く 「大学に求めること」大学の知識にいくら払えるか? (M)正城敏博(大阪大学) (S)河原克己(ダイキン工業㈱) (S)内田史彦(南日立製作所)	C2 産学連携の業界でいかに成長するか (M)大西春嗣(関西TLO西) (S)水田貴信(湘東北テクノアーナ) (S)井筒幸治(理化学研究所) (S)三角可恵(九州大学)
18:30-20:30	意見交換会(会費:3,600円)		
9月14日(土)			
10:00-12:00	A3 最先端研究推進機能・産学官連携機能とは～URAスキル標準から考える～ (M)藤野純子(東京農工大学) (S)山下秀(東京大学) (S)杉光一成(金沢工業大学) (S)石山晃(湘東北テクノアーナ)	B3 こないにしていまっせ！バイオ技術移転！～大学の技術移転分野のバイオ分野に特化した課題とその解決法 (M)鈴木隆昭(遺伝学研究所) (S)根田恒昭(塩野義製薬㈱) (S)橋本和彦(関西TLO西) (S)塚本潤子(奈良先端科学技術大学院大学) (S)Peter Takizawa Aldemira(MVA)	C3 ファンディング・エイジェンシーの知財マネジメント方針～NEDOを例として～ (M)西尾好明(富士通総研) (S)久本正次(NEDO) (S)櫻井克己(鹿島建設㈱) (C)橋ノブ(永代総合法律事務所)
12:00-13:30	昼食		
13:30-15:30	A4 改めて共同研究のあり方を考える (M)山本貴史(東大TLO) (S)坂井政考(首都大学東京) (S)水田貴信(湘東北テクノアーナ)	B4 大学発ベンチャーを成功させるには (M)山口泰久(DIPキャピタル㈱) (S)小箱弘行(湘PRISM Pharma) (S)松田一敏(合同会社SARR)	C4 産学連携の分析力・判断力を養う～ケース・メソッドによるマネジメント・トレーニング～ (M)高田仁(九州大学) (S)児玉耕大(北海道大学) *参加条件について添付資料参照*
			D1 特許基礎講座 (日本弁理士会協賛セッション) (M)上條由紀子(金沢工業大学) (S)久保浩三(奈良先端科学技術大学院大学) (S)折坂茂樹(IP-ボロンナ国際特許事務所) (S)亀崎伸宏(京都総合特許事務所弁理士)
			D2 共同研究基礎講座 (M)小川隆(九州大学) (S)村松英一(神戸大学) (S)村田真穂(京都大学)
			D3 ライセンス基礎講座 (M)石田裕隆(関西TLO西) (S)塩崎紀子(湘西TLO) (S)白田大介(湘東北テクノアーナ)
			D4 米国の先願主義でどうなる米国出願 (日本弁理士会協賛セッション)

Topic 1. 「第3回 SUIJI セミナー高知大会」を開催

8月28日(水)から8月30日(金)まで「第3回 SUIJI セミナー高知大会」を高知県南国市のサザンシティホテルで開催しました。「大学は地域とどうかかわるのか(地域協働・サービスラーニング)」をテーマに、文部科学省高等教育局北山浩士氏、在駐日インドネシア共和国大使館モハマド イクバル ジャワド 氏、在大阪インドネシア共和国総領事館バンバン スギヤント氏を招聘、各大学の教員、学生ら約200名が参加しました。

SUIJI(Six University Initiative Japan Indonesia)とは、2011年に創設したインドネシア3大学(ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学)、四国3大学(愛媛大学、香川大学、高知大学)の6大学のコンソーシアムであり、熱帯地域における農業発展に関する教育研究を協働ですすめることを目指すもの。

今回のセミナーは、高知大学が SUIJI コンソーシアム機構長として当番開催したもので、8月29日の午前中のシンポジウム「地域との学び、地域からの学び:日本とインドネシアの連携による大学ー地域間協働の展開」では、サービス・ラーニングとは何か、サーバント・リーダーとは何かについて考え方を探り、大学と地域社会との理想的な関わり方について各発表者からの提言がありました。

学生フォーラムでは、四国各地(愛媛:里山をテーマにしたフィールド、香川:食をテーマにしたフィールド、高知:海をテーマにしたフィールド)のサービス・ラーニングの現場から到着したばかりの学生たちがその経験を共有しあい、今後の SUIJI 学生ネットワークの在り方について考えました。また、研究者フォーラムでは、現在の研究や共同研究の可能性について情報共有がなされました。

午後の学長フォーラムでは、社会協働教育の実践と SUIJI サービス・ラーニングの今後の方向性について SUIJI の構成大学長から発表が行われました。最後に、今回のセミナーでの議論を踏まえ、6大学長が「サービス・ラーニングプログラムの覚書」と SUIJI の今後の行動計画を盛り込んだ「高知宣言」に署名を行いました。

なお、前日の8月28日には SUIJI 構成大学による運営協議会、30日にはエクスカージョンが行われました。

今回のセミナーを通して、サービス・ラーニングや地域社会との協働に関する経験を共有し、SUIJI の将来の発展について方向性を示すことができました。来年度は、インドネシアのハサヌディン大学が当番となり開催される予定です。



シンポジウム



学長フォーラム



高知宣言署名後の記念写真



集合写真